

# 令和元年度 第2回磐田市健康づくり推進協議会次第

令和2年2月6日（木）午後1時30分～

<sup>あい</sup>  
i プラザ（磐田市総合健康福祉会館）2階ふれあい交流室3

1. 開 会
2. 新任委員紹介
3. 会長挨拶
4. 議事・協議

(1) 健幸いわた21

令和元年度の健幸いわた21重点事業に対する実施報告

令和2年度の保健事業の取り組み

(2) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の推進について

(3) 意見交換

5. 閉 会

その他 連絡事項

令和2年度 第1回健康づくり推進協議会 令和2年7月頃予定

## 健幸いわた21重点課題 令和元年度の取り組みと令和2年度の計画

評価／ 目標値達成◎ 中間評価より数値改善○ 中間評価より数値悪化▲

健康寿命の延伸	令和元年度の取り組み	令和2年度の計画	健幸いわた21目標(一部抜粋)	中間評価(H28)	進捗(H30)	目標(H35)	評価			
いきいき百歳体操	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年12月末時点で99団体、約1600人が毎週1回体操に自主的に取り組んでいる。</li> <li>効果的な体操の実施について(理学療法士)の講話を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現団体への支援継続と新規の団体を開拓する。</li> <li>認知機能の維持向上をめざして、「しゃきしゃき体操」の導入を検討する。</li> </ul>	第2号被保険者の要介護認定率の増加の抑制	0.33%	0.32%	0.38%	◎			
			お達者な人の割合の増加	(H27) 92.2%	92.6%	92.7%	○			
			75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少	(H27) 男79.6% 女40.1%	男62.8% 女57.2%	男72.9% 女40.1%	男◎ 女▲			
出張!まちの保健室	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月(食育月間)は、9回、延べ462人</li> <li>9月(健康増進月間)は9回、延べ504人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門職の配置回数を増やし健康相談の充実化を図る。</li> <li>中小企業向けに展開し、健康情報の発信強化につなげる。</li> </ul>	がん検診 受診率の増加(40~69歳) 子宮頸がん検診は20~69歳	(H27) 胃26.1% 大腸49.9% 肺49.9% 子宮 50.2% 乳60.1%	(H29) 胃28.7% 大腸40.6% 肺44.0% 子宮40.0% 乳53.7%	胃30% 大腸50% 肺50% 子宮51% 乳61%	胃○ 大腸▲ 肺▲ 子宮▲ 乳▲			
健幸アンバサダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>養成した健幸アンバサダーを対象に健康情報を4回配信。</li> <li>7月にフォローアップ研修を開催、11月に養成講座を開催した。</li> <li>令和元年度末時点、養成した健幸アンバサダーは延べ550人。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>養成した健幸アンバサダーを対象に健康情報を配信する。</li> <li>フォローアップ研修、健幸アンバサダー養成講座を引き続き開催する。</li> <li>健幸アンバサダーと協働して保健活動を展開する。</li> </ul>		生活習慣病の重症化予防	令和元年度の取り組み	令和2年度の計画	高血圧Ⅱ度(160/100mmHg)の者の割合の減少	3.1%	3.4%	2.8%
特定健診	<ul style="list-style-type: none"> <li>通知内容の工夫により、受診勧奨のハガキを送付した8,600名のうち3,000名が受診につながった。</li> <li>2月の健診の勧奨通知内容を男女で分けて受診勧奨をしたところ、昨年度より申込者が100名程増加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診率向上を目指して勧奨通知の内容を工夫していく。</li> <li>休日健診、レディースデイ等受診しやすい健診体制を検討していく。</li> </ul>	LDLコレステロール180mg/dl以上の者の割合の減少	5.0%	4.3%	4.9%	○			
			メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少(法定報告)	24.3%	26.5%	22.4%	▲			
がん検診	<ul style="list-style-type: none"> <li>勧奨・再勧奨通知の工夫、インターネット予約の導入により、受診者が昨年度より100人程増加した。</li> <li>精密検査未受診者への受診勧奨を実施し、8割の方が受診につながった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い世代に対して、乳がん検診の実施と周知を行っていく予定。</li> <li>精密検査受診者を100%に近づけるように受診勧奨を継続していく。</li> </ul>	特定健診受診率の増加(法定報告)	45.8%	46.9%	60.0%	○			
			特定保健指導実施率の増加(法定報告)	57.0%	73.8%	60.0%	◎			
糖尿病重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>かかりつけ医・専門医と連携を進め、糖尿病性腎症重症化予防対策連絡会を3回開催し、「治療中の患者に対する医療と連携した保健指導」について検討した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「治療中の患者に対する医療と連携した保健指導」を医療機関・健康保険組合と連携し実施していく。</li> </ul>	HbA1c(NGSP値)8.4%以上の者の割合の減少	0.64%	0.58%	0.62%	◎			
			新規透析患者のうち原因疾患が糖尿病性腎症の者の減少	23人	21人	19人	○			
こころの健康	令和元年度の取り組み	令和2年度の計画	楽しんで育児ができる保護者の割合の増加(3歳児健診)	97.5%	98.1%	100%に近づける	○			
自殺予防啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員を対象にゲートキーパー研修を開催し、計79人が受講した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員等の地域住民と密接に関わりを持つ方たちを対象に引き続きゲートキーパー研修を開催していく。</li> </ul>	ゲートキーパー養成研修累計参加者数の増加	226人	376人	700人以上	○			
			21時前に寝る子どもの割合の増加(3歳児健診)	54.7%	50.9%	60%	▲			
若者相談支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月からiプラザ3階に、こども・若者相談センターを開設した。</li> <li>専門の相談員3名を配置し、対面及び電話、必要に応じて家庭訪問を行う等の支援を行った。</li> <li>令和元年12月末時点で、相談者53人、対応件数384件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門の相談員による対面及び電話、訪問等の支援を継続していく。</li> <li>本人や家族など悩みや心配を持つ方々が集い支えあえる居場所を設置する。</li> </ul>	朝食をとっている人の割合(参考値)	幼稚園・保育園児	96.3%	97.6%	100%に近づける	○		
				小学5年生	94.7%	98.4%		○		
				中学2年生	92.8%	97.4%		○		
				高校2年生	93.7%	96.6%		○		
				成人	87.1%	95.3%		95.5%	○	
生活習慣の改善	令和元年度の取り組み	令和2年度の計画	日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している者の割合の増加	男48.3%	男49.0%	男52%	○			
				女48%	女45.1%	女50%	▲			
ライフステージごとの食育啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝食摂取率向上のため、企業と協力した地場産商品の開発・販売を行った。ターゲットとした若年層での販売数も伸び啓発につながった。</li> <li>静岡県と協働で、市内2社の企業内で健康イベントを実施した。</li> <li>園での食育講座を34園で実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業と協力して、時短レシピや啓発チラシを作成し、バランスの良い朝食摂取を啓発していく。</li> <li>子どもを通じて家庭への啓発を重視し、楽しくおいしく食事ができるための食支援を関係各課で取り組んでいく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てに関する情報提供を行い、生活リズム向上や朝食摂取の意識付けにつなげていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年12月末時点で登録者数1,909人</li> <li>生活リズム、朝食を食べましょう、子育て講座情報を配信した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりに対する意識が広がり、ポイントをためてカードを交換する人が増えるように、抽選会の継続実施や参加者が取り組みやすい工夫を行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年12月末時点でふじのくに健康いきいきカード発行数92枚。</li> <li>協賛企業より景品提供を受け、年度末におたのしみ抽選会を実施。</li> <li>健診結果が「異常なし」の方へ、サービスポイント5ポイントの進呈を新たに追加した。</li> <li>参加者拡大のため、協賛企業を増やした。</li> </ul>				

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る基本的な方針について（案）

1 概要

健康保険法の改正（令和2年4月1日施行）に伴い、市町村が75歳以上の高齢者に対する保健事業を介護保険の事業と一体的に実施できるようになりました。

磐田市は健康寿命の延伸や介護保険新規認定者の増加を抑制するため、令和2年度から高齢者の保健事業と介護予防の一体的な保健事業を行う予定です。

現在、この事業を実施するため「磐田市高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る基本的な方針」の策定を進めています。

なお、この事業は磐田市が静岡県後期高齢者医療広域連合（広域連合）からの委託を請け実施するもので、広域連合と詳細について協議を進めています。

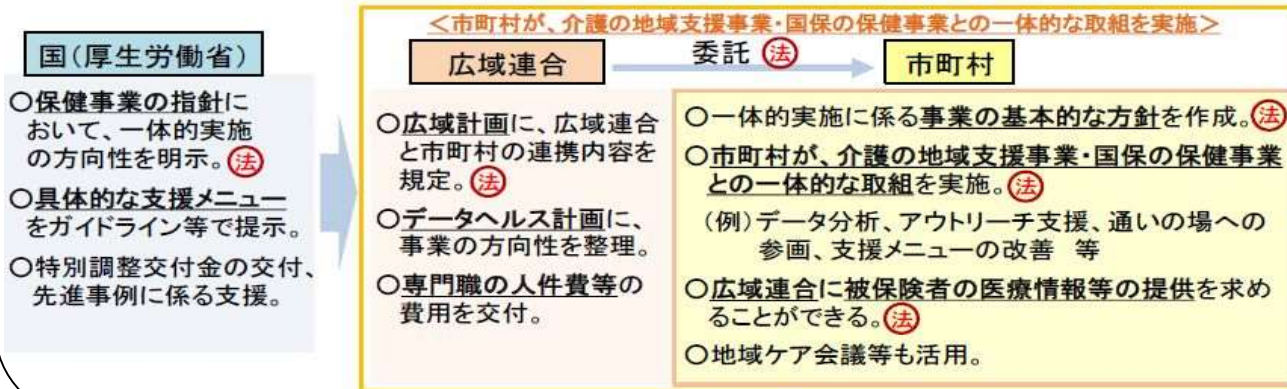
2 現状と課題

- ・後期高齢者数 約23,000人（H30年度末）
- ・静岡県お達者度（65歳から何年自立して生きられるか）男4位、女17位（H28年度）
- ・75歳を超えた方には後期高齢者健診結果に応じた保健指導をする機会がない
- ・健診未受診かつ医療機関受診もない健康状態不明者 778人（H30年度）
- ・骨粗鬆症一人当たり医療費が県内で最も高い（H29年度）
- ・75歳以上の要介護認定者の6,245人の内、約90%が筋・骨格疾患（H30年度）
- ・高血糖の割合や糖尿病の割合が県平均より高い（H29年度）

3 事業内容

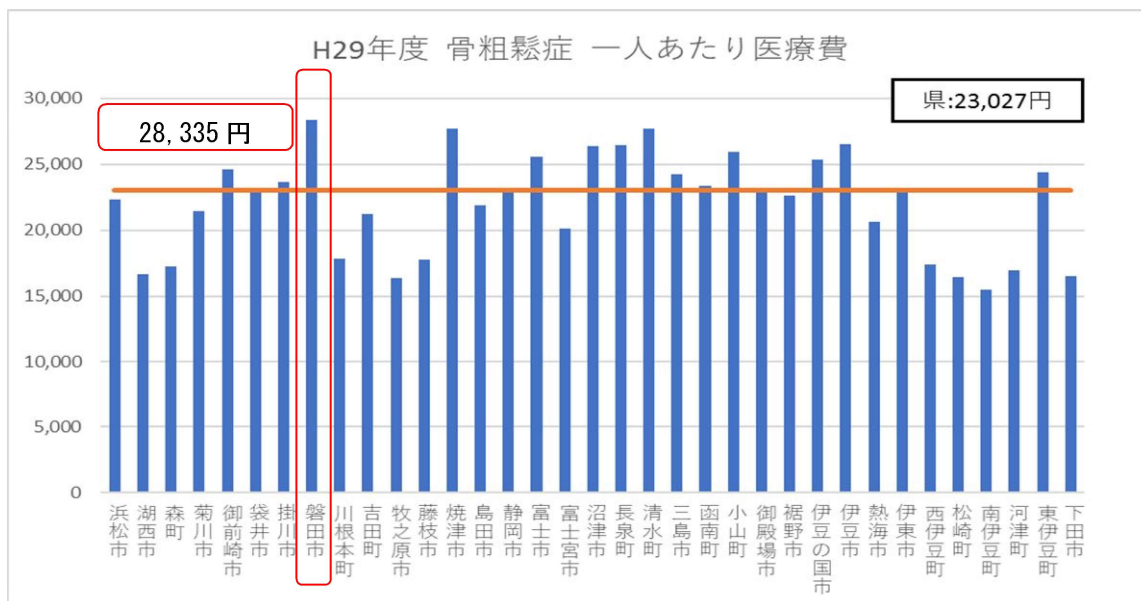
- (1) 国保データベースシステムを活用した分析及びコーディネート  
後期高齢者約23,000人から保健事業対象者を抽出します。
- (2) 後期高齢者に対する個別支援  
抽出した対象者（約800人）に、市の保健師や栄養士が保健指導（重症化予防等）を行う予定です。
- (3) 通いの場等への積極的な関与  
いきいき百歳体操実施会場の拡大等、地域資源の環境整備やフレイル防止に向け閉じこもり傾向の方等を地域資源につなげる取り組みを行います。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施



高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る基本的な方針について（案）

【平成29年度 骨粗鬆症一人あたり医療費が県内で最も高い】



【平成30年度 75歳以上の要介護認定者の6,245人の内、約90%が筋・骨格疾患】

年代	認定者数	高血圧		糖尿病		認知症		筋・骨格疾患	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
75～84歳	2,347人	1,810	77%	1,262	53%	907	38%	2,030	86%
85～94歳	3,336人	2,819	84%	1,669	50%	1,472	44%	3,104	93%
95歳以上	562人	473	84%	192	34%	247	44%	520	92%
計	6,245人	5,102	81%	3,123	50%	2,626	42%	5,654	90%

【平成29年度 高血糖の割合や糖尿病の割合が県平均より高い】

